

諏訪地方の 経済概況 速報

2015.10

2015年9月末調査／2015年10月28日発行

SUWA AREA
ECONOMIC
OVERVIEW



諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

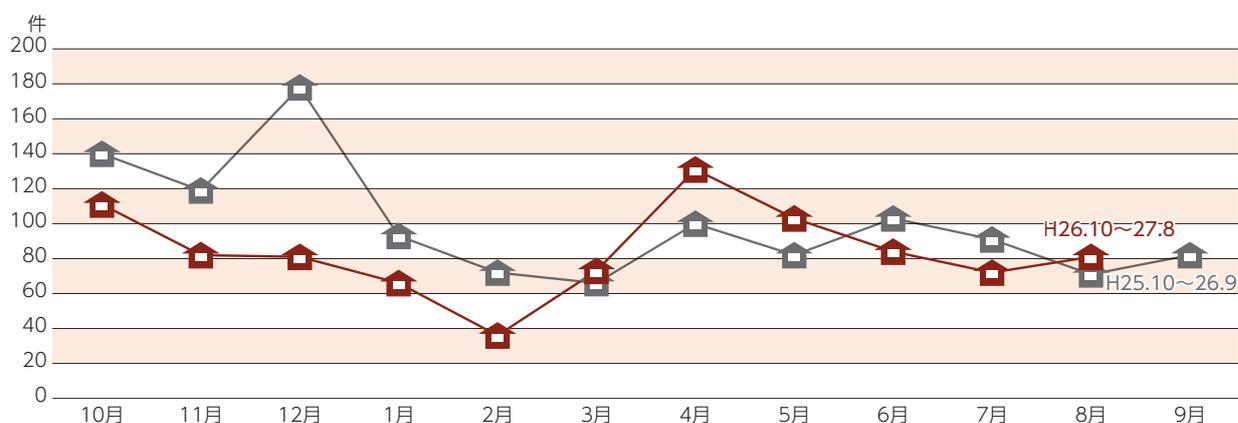
諏訪地方の概況

9月は、中国や新興国経済減速の影響で、受注に陰りが見られる企業が増えた。これに加え、ドイツの自動車大手フォルクスワーゲンの排出ガス不正問題が浮上し、諏訪地方の企業からはブランドイメージの低下やディーゼル車市場の縮小を懸念する声があった。自動車関連は総体的に横ばい状態で推移し、一般機械も中国や東南アジア向けでは受注が減少傾向となっている。一方、今年の9月は休日の並びが良く5連休となったシルバーウィークが天候に恵まれ、高原の観光地などがにぎわった。諏訪地方の有効求人倍率は、全県や全国平均を上回り、建設業や商業などでは労働力確保の経営課題が続いている。

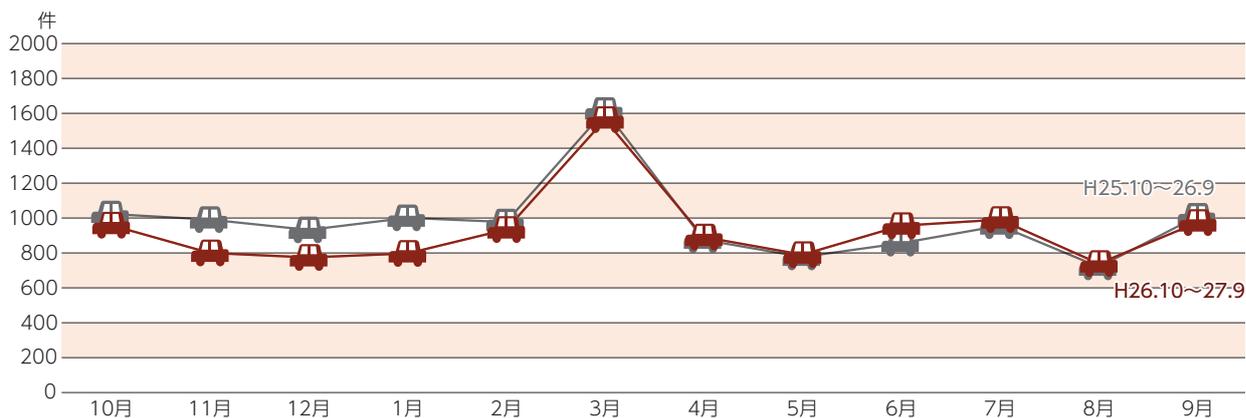
(諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ)

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【8月】(諏訪公共職業安定所管内)		1.31倍	0.11ポイント	
手形交換高【9月】(諏訪手形交換所扱)	枚 数	5,555枚	△1,673枚	
	金 額	7,040百万円	△2,414百万円	
	うち不渡り発生状況	枚 数	0枚	△1枚
		金 額	0千円	△1,000千円
電力使用量【9月】(中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	38,517MWh	△1.5%	
	高圧電力計	91,705MWh	△1.7%	
	合 計	130,222MWh	△1.6%	
車庫証明取扱件数【9月】(諏訪地方合計)		974件	△3.6%	
新設住宅着工戸数【H27年4月～8月】(諏訪管内)		471戸	5.4%	

■新設住宅着工件数の推移(諏訪地方合計)



■車庫証明件数の推移



9月は世界景気への不安などから、日経平均株価は大幅に乱高下した。また、フォルクスワーゲン（VW）問題が世界に波紋を投げかけた。諏訪地方の企業からは徐々に、中国経済減速の影響で先行きを懸念する声が高まっている。さらにVW問題の影響を受ける企業もあり、不透明感が漂う状況となっている。製造業は、輸送用機械で自動車関連が総体的に横ばいで推移し、一般機械は自動機械や搬送用機械、検査機械など好調を維持している企業があるが、中国や東南アジア向けは総体的に動きが鈍くなっている。金属製品加工の受注状況は企業によって差が見られる。電気機械は、情報機器や電源装置関連などで一部好調が続く企業がある一方で、在庫が増加している企業もある。精密機械は、監視カメラや車載カメラなどが堅調に推移しているものの、中国経済の間接的影響などでしばらく減産が続く見込みの企業もある。

金属製品 プレス、メッキ、熱処理など	堅調に推移してきた主力取引先からの受注が減少傾向となったり、フル稼働状態のピークが過ぎた企業が増えている。モデルチェンジした自動車関連などでは繁忙な企業もあるが、定例のコストダウン要請で収益確保の厳しさもあり、受注状況は企業によって濃淡が分かれる。中国経済やVW問題で先行き不透明感を持つ企業が多くなっている。
一般機械 工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など	搬送用機械は今のところ、中国経済減速の影響はなく、食品、自動車、医薬品、スマホ用液晶ガラスなど受注は全般的に安定している。また、国内向けの製造設備には動きがあり、検査装置や自動化機械は比較的堅調に推移している。省エネやものづくり補助金関連の受注がある。工作機械、産業機械部品は海外向けで動きが鈍く、自動車関連などでは中国や東南アジア向けの受注が鈍化している。スマートフォン関連にも一服感がある。
電気機械 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など	電源装置関連や医療機器関連の受注は引き続き安定して推移し、情報機器分野の一部でも好調が続く企業がある一方で、在庫が増加し、今後の受注鈍化を懸念する企業もある。スマートフォンや自動車に搭載される電子部品は増加しているが、受注の増減に波があり、今後の中国や欧州の情勢やそれに伴う取引先の状況によって変化する可能性もあり、先行きが見通しにくい状況がある。
輸送用機械 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など	自動車関連はメーカーや取扱い部品によって差があるが、総体的には低調な動きとなっている。その中で、米国向けやトラック向け部品は比較的好調に推移している。VW関連は、排ガス問題の対象と異なる車種の部品製造企業では、今のところ影響は少ないが、イメージダウンなど今後の状況が懸念されている。船外機は4ストロークの大型エンジンを中心に、欧州、中国、新興国向けが鈍化しているが、減少幅は小さい。
精密機械 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など	光学機器業界は全体の受注量が減少し、親会社からの受注がキャンセルされた企業もある。一方、一部高級機種のカメラレンズは受注が多く、今後のクリスマス需要も見込まれている。レンズ業界では中国の景気減速はあまり感じられないという声もある。光ファイバーや監視カメラ、車載カメラ関連も好調を維持している。一部地元企業からの発注も多い。
製造業全般	衣料品製造は、主力取引先からの高級品を中心とした受注が例年より増加傾向で推移している企業がある。ただ、原材料高を価格転嫁できず、収益面で影響がある。寒天は道の駅の売上が好調で、スーパー向けは横ばい。在庫がやや増加傾向となっている。北陸金沢方面向けは新幹線開業で全般的に好調だった。

商業

「ガソリン下落も身近な商品値上げで負担感」

9月の天候は前半が台風や前線の影響で雨の日が多く、小売店や飲食店などでは客足が減少したが、天気が回復した後半に盛り返す傾向となった。原油安を受けてガソリンは下落傾向となり、家計に恩恵をもたらす一方で、食品など支払頻度が高い身近な商品が値上がりしているため、消費者には負担感がある。依然、パートやアルバイトの確保に苦慮する展開も続いている。自動車販売（軽を除く）は、諏訪地方の9月の車庫証明件数が974件で、前年同月比36件減少（△3.6%）した。今年4月から前年同月比増加が続いていたが、6ヶ月ぶりに減少した。

衣料	例年より遅れ気味だった秋冬物衣料は、気温の低下とともに、売れ行きが伸びた。
食料品	レタスやキャベツなどの葉物野菜や精肉が高値となった。スーパーなどでは鍋やおでんなどの食材の売れ行きが伸びた。
家電製品	エアコン、掃除機、冷蔵庫などに動きはあったものの、4Kを含めたテレビの動きは鈍い。
自動車	県内の9月の新車新規登録台数は、登録車が2ヶ月連続で増加し、軽自動車は9ヶ月連続で減少した。全体では前年同月比634台減少（△5.5%）の10,798台で、2ヶ月ぶりに減少した。
ホームセンター	園芸用品の出足が早く、8月後半から秋作物準備のための鶏糞や土壌剤が好調だった。衣替えで収納するプラスチックケースなども伸びた。

観光・サービス業

「シルバーウィーク好天でにぎわう」

今年の9月は19日から5連休のシルバーウィークがあり、期間中天候に恵まれたことから、諏訪地方は高原の観光地を中心に各地で多くの観光客の入り込みがあった。中には入場者数と売り上げが、盆やゴールデンウィーク以上に好調だった施設もある。ただ、そのほかの休日が大型連休に食われた形になり、総体的には大幅増とはならなかった。また、貸切バス料金値上げの影響で、団体客の減少も見られた。今後の紅葉シーズンへの影響を懸念する声もある。

上諏訪温泉	宿泊客数は、大型連休の影響で前年同月比100%～150%台の施設が多いが、中には団体客の減少で前年同月を下回った施設もあった。海外からの旅行客も前年同月比微増にとどまった。10月までは紅葉シーズンで集客が期待できるが、貸切バス料金値上げの影響による団体客減少が予想されている。
蓼科・白樺湖・車山等	シルバーウィークが好天で観光地は予想以上に来場者が多く、売り上げが増加し、8月後半の不振をカバーした形となった。富士見方面では各種イベントが盛況で、合宿や花の里も前年より増加した。ただ、通常の土日は来場者が減少傾向だった。
下諏訪温泉	大型連休中は満館の施設もあったが、雨の影響などで平日の利用客は前年より減少傾向だった。新作花火、フィナーレ関連の来場者も期待したほどではなかったと見られる。
諏訪大社	上社・下社合わせた9月の参拝者数は約61千人。前年同月比では約5千人の増加（9.5%）となった。

建設業

「ほぼ前年並みの受注量、技術者不足続く」

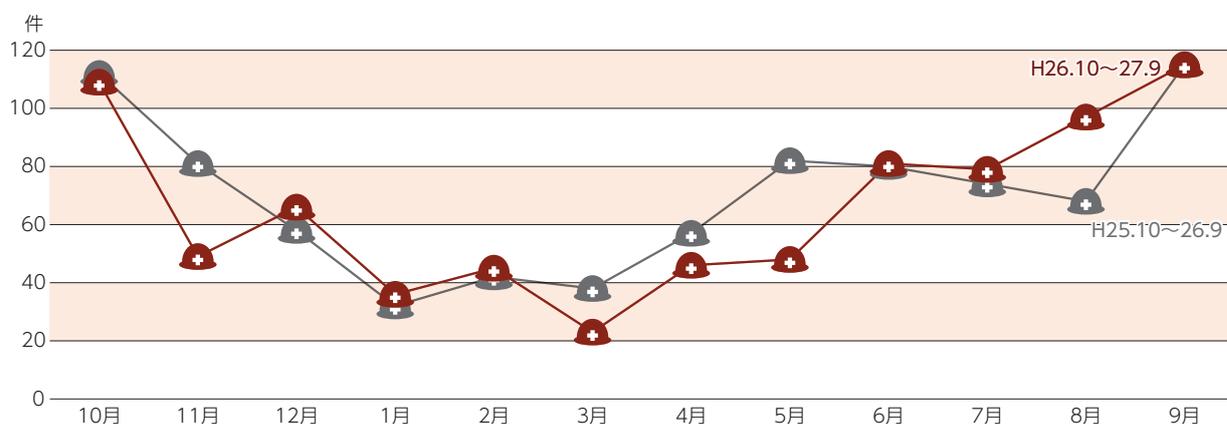
9月の市町村からの受注工事は、合計115件、1,400百万円となった。前年同月に比べ、件数は同数で、契約金額は218百万円減少した。一方、国県関係の4月～9月の累計公共工事（地元業者受注分）は前年同期累計比で件数は増加し、契約金額は減少している。補正予算があった平成25年度、26年度に比べて小口化しているが、例年並みの動きとなっている。民間工事は、諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数が81戸で、前年同月比10戸の増加（14.1%）となった。

公共工事	<p>9月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所13件、施設課関係1件、農地整備課5件、その他土木工事・建築1件の合計20件で、契約金額は575百万円だった。平成27年4月～9月の累計は77件、2,729百万円となり、前年同期の累計比で件数は11件増加したが、契約金額は706百万円減少（△20.6%）した。</p> <p>市町村からの9月の受注工事は、岡谷市の西部中第二体育館・プール改築工事など建築工事10件407百万円、土木工事及び下水道工事76件710百万円、その他工事29件283百万円となった。</p>
民間工事	<p>諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数は、前年同月比の利用関係別で「持家」は1戸減少の59戸、「貸家」は8戸減少の0戸、「分譲」は1戸増加の4戸、「給与」は18戸増加の18戸となった。平成27年4月～8月の累計は471戸で、前年同期比24戸増加（5.4%）となっている。</p> <p>長野県内の8月の新設住宅着工戸数は842戸で、前年同月比1.5%減少した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が575戸で4.9%増加、「貸家」は175戸で4.9%減少、「給与」は19戸で375.0%増加、「分譲」は73戸で38.7%減少した。</p>

■諏訪地方の8月の新設住宅着工状況

区分 市郡名	合計 戸数	前 年	利用関係別								構造別			
			持家	前年	貸家	前年	給与	前年	分譲	前年	木造	前年	非木造	前年
岡谷市	11	23	11	15	0	8	0	0	0	0	11	21	0	2
諏訪市	11	13	10	11	0	0	0	0	1	2	10	13	1	0
茅野市	41	19	21	18	0	0	18	0	2	1	21	13	20	6
諏訪郡	18	16	17	16	0	0	0	0	1	0	15	15	3	1
合計	81	71	59	60	0	8	18	0	4	3	57	62	24	9

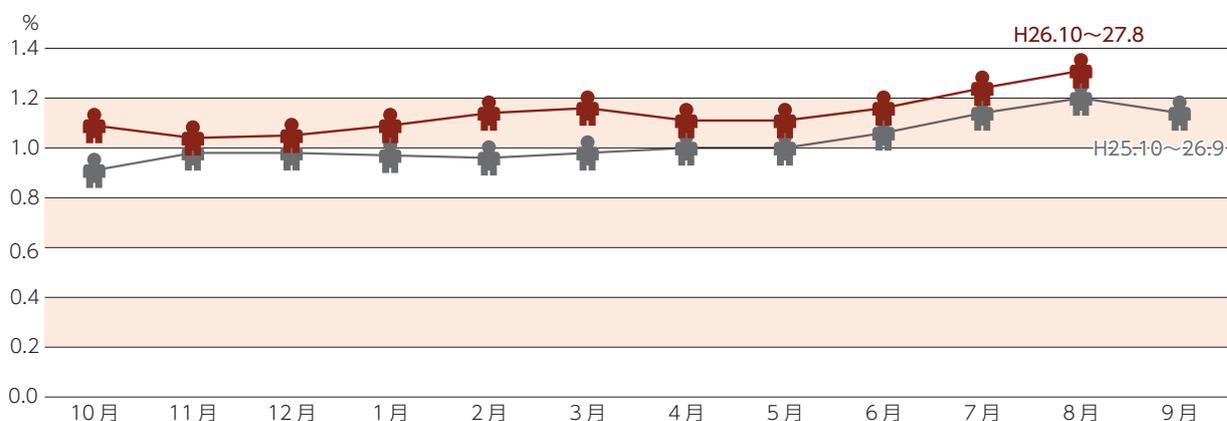
■公共工事の推移（市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く）



諏訪地方の8月の有効求人倍率は、前年同月を0.11ポイント上回り、前月を0.07ポイント上回る1.31倍となった。リーマン・ショック直前の平成20年8月以来の高水準となった前回からさらに改善した。1倍台の維持は17ヶ月連続で、前年同月を上回るのは27ヶ月連続となり、全県、全国水準も上回った。依然、「労働力確保」が経営上の課題となっている企業が多い。全国平均は1.23倍で23年7ヶ月ぶりの高水準となった。長野県平均は1.27倍で、長野五輪開催前の平成9年に最も高水準となった同年6月以来、18年2ヶ月ぶりに1.27倍を回復した。1倍台は20ヶ月連続、1.2倍台は8ヶ月連続となっている。

諏訪地方の新規求人(全数)は1,558人で、前年同月比98人増加(6.7%)した。要因別では「欠員補充」「業務量増大」が増加し、「継続する人員不足」「創業・新分野展開」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、「卸・小売業」「その他のサービス業」で増加し、「生活関連サービス・娯楽業」で減少した。新規求職者数は781人で、前年同月比30人増加(4.0%)した。1件10人以上の人員整理は1件30人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は84人で、前年同月比51人増加し、前月比でも2人増加した。

■有効求人倍率の推移



《企業のひとこと》

- 中国の景気減速に関連する減産をあちこちで耳にするようになってきた。余分な在庫を持たないため、いざ減産となると、以前より顕在化が早くなった(金属製品加工業)。
- 自動車関連をはじめ、全体的に海外向けの話が少なくなっている。北米、メキシコ向けはまずまずだが、東南アジア向けは総じて低調で、中国向けはほとんどない(一般機械製造業)。
- 中国経済減速に加え、フォルクスワーゲン問題でも間接的な影響を受けている。移民問題やワーゲン問題で、EUの景気が落ち込まないか心配(輸送用機械製造業)。
- 連休中の来店客は多く宴会利用もあったが、平日の来店客数が予想以上に少なく、売上が減少した(飲食店)。
- 依然、人材確保は大変で、人手不足が解消されない(小売店)。
- 発注は多数あるが、現状が手一杯で手が出せない(建設業)。
- 土木を志す若者が少ないうえ、優秀な生徒は大手ゼネコンか公務員になってしまう。昔に比べ、提出書類、住民説明、県の技術員の監督などが細かくなり、1人の代人で管理できる現場が少なくなっている(建設業)。
- シルバーウィークは予想以上の集客だったが、そのほかの休日が連休に食われた形で総体的には微増にとどまった(観光業)。

長野県の金融経済動向

(2015年10月1日) 日本銀行 松本支店

— 2015年の公表日の前営業日時点で利用可能であった情報をもとに取りまとめ。

長野県経済は、生産に新興国経済の減速の影響などがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

最終需要の動向をみると、公共投資は高水準ながら緩やかな減少傾向となっている一方、住宅投資は底堅く推移している。この間、設備投資は緩やかに増加している。また、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

以上のような最終需要のもとで、生産は新興国経済の減速の影響などから、このところ横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得は、着実な改善が続いている。

なお、企業の景況感をみると、製造業は新興国経済の減速の影響などから悪化している一方、非製造業は概ね横ばいとなっている。先行きは製造業で改善、非製造業で小幅の悪化を見込んでいる。

生産

半導体関連・電子部品等では、スマートフォン向けの増勢一服のほか、生産用機械向けで中国など新興国経済減速の影響がみられることから、生産は横ばい圏内の動きとなっている。

自動車関連では、北米向け等の海外需要が堅調なものの、国内向けで一部に弱さがみられることから、生産は横ばい圏内の動きとなっている。

機械・同関連部品等では、工作機械は、内外需要の増加により、生産は緩やかに回復しているものの、中国など新興国経済減速の影響がみられる。成形機は、内外需要の増加により、生産は緩やかに回復している。計器は、自動車向け等の需要が堅調なことから、生産は高めの水準で推移している。バルブは、プラント向け需要が堅調なことから、生産は高めの水準で推移している。

飲料は、弱含んでいる。

個人消費

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)をみると、8月は一部に弱さがみられるものの、消費者マインドの持ち直しを背景に緩やかに回復しつつある。

家電販売は、8月は一部に持ち直しの動きがみられることから、全体としては前年を上回った。

自動車販売は、8月は前年を上回った。

公共・住宅投資

公共工事請負額をみると、8月は国、県の発注分が減少したものの、市町村、独立行政法人等の発注分が増加したことから、全体では前年を上回った。

住宅着工戸数をみると、8月は持家が増加したものの、貸家、分譲が減少したことから、全体では前年を下回った。

雇用・所得

有効求人倍率をみると、7月は新規求人数が増加していることから、回復している。所得面では、7月は常用雇用者数が前年を下回ったものの、一人当り名目賃金が前年を上回ったことから、雇用者所得は前年を上回った。

輸出・企業収益・設備投資

輸出は、15年度は前年度を上回る計画となっている。

企業収益は、15年度は減益計画となっている。

設備投資は、15年度は製造業を中心に前年度を上回る計画となっている。

物価

消費者物価指数(除く生鮮食品)をみると、8月は交通・通信や光熱・水道が下落したことを主因に、前年を下回った。



SUWA SHINKIN BANK

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>